

民俗芸能の競演に酔いしれる 秋の子どもみちのく芸能まつり

秋の子どもみちのく芸能まつり(北上市文化財活性化実行委員会など主催)は7日、さくらホールで行われました。

これは、文化庁の2010年度地域伝統文化総合活性化事業に採択された「市文化財活性化プラン」の一つで、県内の民俗芸能6団体と、特別出演の秋田の竿燈が伝承の芸能を披露。剣舞、神楽など子どもが地域に根付き、受け継がれている民俗芸能の競演が観客を魅了していました。

地域に受け継がれている宿大乘神楽を披露した子どもたちの舞手



鬼剣舞の衣装で一日駅長を務めた佐藤さん(中央)と千田さん(右)

120年の節目を盛大に祝う JR北上駅開業120周年イベント

JR北上駅開業120周年イベントは10月23日・24日、同駅などで行われました。一日駅長は北上翔南高校鬼剣舞部前主将・佐藤文記さん(3年)と副部長・千田奈穂子さん(2年)が務めたほか、レールスター試乗体験、ちびっこ写真撮影会、鉄道模型・プラレール展示などが行われ、節目を祝いました。

北上駅は明治23年11月に開業。現在は東北新幹線、東北本線、北上線が乗り入れる交通の要衝として利用されています。

身近な自然に驚きがいっぱい 森の科学探検隊

環境教育プログラム「森の科学探検隊」((株)東芝、岩手東芝エレクトロニクス(株)主催)は10月31日、極楽寺周辺で行われました。市内の小学生とその保護者37人が参加。テレビなどで活躍している自然案内人の佐々木洋さんが講師を務め、自然の楽しさと大切さを伝えていました。

参加した小野寺希望君(二子小3年)は「いつも見ている葉っぱだけど、よく見るといろんなものに似ていた」と驚いていました。

参加者に身近な自然について説明をする佐々木さん(左)



第1回からまつりで公演を行っている二子鬼剣舞

芸能まつり50年を振り返る 芸能まつり50周年300日前イベント

北上みちのく芸能まつり50周年300日前イベントは10月23日・24日、JR北上駅前で行われました。市内外芸能団体12団体が公演。二子さといも、北上コロケ、展勝地もちなどが販売されたほか、これまでのまつりのポスターを展示して50年の歴史を振り返りました。

このイベントは、市観光意見交換会による「北上秋とれたて!キャンペーン」の一つで、JR北上駅開業120周年イベントと同時開催されました。

「火の用心」防火を啓発 黒沢尻保育園防火パレード

黒沢尻保育園防火パレードは10日、同保育園周辺で行われました。このパレードは秋季全国火災予防運動の一つ。年長児29人は、地域の黒沢尻8区老人クラブの皆さんと、防火と住宅用火災警報器の設置を啓発しました。

はんでんを着た園児は「たばこのぼい捨て火事の元」「子どもの火遊び火事の元」と大きな声で拍子木を打ちながら、地域の人たちに火の元の確認を呼びかけました。

防火パレードを行った黒沢尻保育園
園児たちと「住警器マン」



今も変わらぬ情熱を持ち、旋盤と向き合い続ける藤原さん

今も変わらぬ情熱 「現代の名工」

優れた技術、業績を持ち、さまざまな分野の第一人者として活躍する技能者を表彰する「現代の名工」に旋盤工の藤原正榮さん(62歳・和賀町横川目)が選ばれました。谷村電気精機(株)に勤務し、42年。近年は高度熟練技能者の認定を受けるなど人材育成にも力を入れています。

藤原さんは「今までやってきたことを認めていただいてありがたい」と喜び、「基本が大事。若い人には常に疑問を持ってやってほしい」と話していました。

体育館に親子の歓声 父親講座「お父さんと遊ぼう！」

子育て支援センターとかけっこ体育館合同企画の父親講座「お父さんと遊ぼう！」は13日、村崎野勤労者体育館で行われました。2歳から就学前までの子どもとその親85人が参加。親子で一緒に体操したり、走ったりして楽しんでいました。

息子の阿部孝勇くん(5歳)と一緒に参加した勇さん(中野町)は「普段とは違う体を使った遊び方を教えてもらいました。今日は一緒に楽しめました」と話していました。

一緒に遊ぶ前に、楽しみながら準備体操をする親子



完成した総合案内板を披露する佐藤理
事長(左)と平野支部長(右)

市民や観光客の活用に期待 国見山廃寺跡案内板整備事業完成式典

国見山廃寺跡案内板整備事業の完成式典は10月30日、極楽寺駐車場で行われました。

北上青年会議所(佐藤一郎理事長)と岩手県建築士会北上支部(平野周支部長)はこれまで、同廃寺跡を貴重な財産として活用する活動を行ってきました。本年度、市のみんなで作るまちづくり事業費補助金を活用し、協働で実施。九つの堂跡など11カ所に説明板を設置したほか、総合案内板2カ所と堂跡などを巡る散策路の12カ所に道案内板を設置しました。